












SRID キャリア開発事業 登録講師リスト (あいうえお順)

写真	名前	講義担当分野	主なカバー国	国際協力の経験
	今井正幸	開発経済学概論、開発金融、開発計画、経済分析、財務分析、開発プロジェクトの形成。	アジア各国、中東欧各国、アフリカ各国、特に中東アラブ各国。	国際協力銀行 (JBIC) でアジア、中東アラブ地域の各国で開発プロジェクトの形成、管理の実務に携わってきた。開発コンサルタントの実務も多く経験。大学教授として 11 年にわたり開発を講義。
	香川重善	開発コンサルタントに係わる技術調査研究業務 (地下水開発・給水計画の無償・開発調査・技プロの現地調査と報告書作成)。	東南アジア、アフリカ、中東諸国など多数。	国際開発コンサルタント・研修講師。1) アフリカ地域対象「水資源の開発と管理」JICA 研修、2) カウンターパート研修(地下水開発・給水計画・参加型維持管理の分野)、3) 国際開発研修。
	神田道男	経済開発、技術移転、地域協力、環境問題、プロジェクト運営管理手法。	フィリピン、インドネシア、ミャンマーなど多数。(特に島嶼部アジア地域)	JICA・外務省経済協力局において 40 年にわたり、技術協力、無償資金協力を実施。この間、案件の形成・調査、援助人材の養成、援助案件の質の向上に関わる。
	黒田次郎	市場分析、財務・経済分析、中小企業開発、プロジェクトファイナンス、工業開発、企業経営。	米国。タイ・工業団地、ヨルダン・カリ肥料、サウジアラビア・石油化学団地、インド・リン酸肥料、エジプト・複合肥料、カタール・天然ガス利用案件など多数。	国際復興開発銀行 (IBRD)、海外技術協力事業団 (OTCA) (現 JICA) において、プロジェクトの計画策定と融資を実施。世界銀行勤務の後、三菱銀行プロジェクト開発部長など歴任。

 講師の顔写真をクリックすると詳細なプロフィールをご覧になれます。

	<p>小林文彦</p>	<p>プロジェクトファイナンス。ワークアウト(企業再生と不良債権回収)。開発援助。グローバルに働いた経験。</p>	<p>IFC と伊藤忠商事の計 40 年の業務で 訪問した国は 60 カ国以上、その内アフリカは 16 カ国。米国勤務は伊藤忠商事ニューヨーク(10 年)と IFC ワシントン本部(11 年)の計 21 年。</p>	<p>多国籍・多文化ビジネス環境下での各種製造業(製紙・製鉄・食品・セメント等)・農水産業(エビ養殖・農園等)・ホテル・鉄道インフラ、鉱業等のプロジェクトファイナンスとワークアウトで多くの修羅場を経験。</p>
	<p>高千穂安長</p>	<p>プロジェクト評価手法、地域開発、地域金融。</p>	<p>パナマ土地利用調査 (UNDP)、タイ・ラムチャバン事前調査 (JICA)、コロンビア工業基地振興調査 (JICA)、モンゴル派遣専門家 (JICA)、ベトナム国下水道整備予備調査 (JICA)、中国農業振興事前調査 (JICA)、カンボジア援助実施体制評価調査 (JICA) など多くのプロジェクト経験。</p>	<p>財務分析とファイナンスの専門家として様々な国際協力プロジェクトに参加。</p>
	<p>高橋一生</p>	<p>国際公務員のあり方について(国際的忠誠、国際公共財の担い手など)。会議を通じたの仕事を進め方。マルチ・ステークホルダーたちのまとめ方。多様な報告書の書き方。</p>	<p>アメリカ9年、フランス11年。途上国は30か国ほどをプロジェクト関連で訪問。</p>	<p>OECD DAC ではベーシック・ヒューマンニーズなどの担当として、コンセプト作成、それを援助機関共通のものとする作業が中心。その後、事務総長室課長としては国際参謀として冷戦と南北関係の接点に関する作業に従事。</p>
	<p>中沢賢治</p>	<p>プロジェクトファイナンス、中小企業支援、国際機関、中央アジア事情、プレゼンテーション研修、国際機関への応募。JPO 体験。</p>	<p>英国、オーストラリア、中央アジア、コーカサス、バルカン諸国など多数。米国留学を含めて 27 年の海外経験。</p>	<p>国連工業開発機関 (UNIDO)。欧州復興開発銀行 (EBRD) 電力事業チームシニア・バンカー。ウズベキスタン、マケドニア、キルギス共和国事務所長 (駐在代表) 歴任。</p>

	<p>藤村建夫</p>	<p>開発経済学、中小工業開発、南南協力、プロジェクトの運営管理、PCM手法、援助人材の養成。</p>	<p>海外生活は英国 2 年を皮切りにミャンマー3年、ニューヨーク 10 年、上海 3 年、合計 18 年に亘る。</p>	<p>JICA 鉱工業開発協力部、企画部、国際協力総合研修所、ミャンマー事務所長を歴任。(財)国際開発高等教育機構へ出向の後、UNDP で南南協力部、南南協力ニア・アドバイザー。上海環境能源交易所、上級顧問を経てミャンマー・日本エコツアーリズム(MJET)会長。</p>
	<p>山下道子</p>	<p>プロジェクトの評価手法、国際機関の仕事の流儀、海外留学相談。</p>	<p>米国。JICA プロジェクトの評価調査団員として東南アジア諸国を訪問。</p>	<p>国連事務局経済社会局情報マイクロ経済部で国連経済社会委員会の事務局として研究報告書を作成。日本国際開発センター勤務。</p>